

# 札幌社保協 FAXニュース

2009年 3月27日(金)  
 社保協事務局 発行  
 TEL823-0867 Fax821-3701  
 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期高齢  
 110番は4/30です

## 介護サービスを削らなければならない人が出てくる 高齢者の対策と国への要望を要請—札幌社保協

3/26、介護報酬の引き上げによって、サービス利用者の利用料負担が上がる問題と、利用上限額を超える人が出る問題、新しい介護認定方式の問題点について、社保協は市の関係部門と懇談を行いました。勤医協在宅のケアマネ、道社保協など8人が参加、市からは介護保険課、予防担当課、事業担当課、高齢福祉課、生活保護指導課から7人が出席しました。



国は報酬を上げて介護度ごとに決まっている利用限度額を変えなかったため、サービスを限度額いっぱいに使っているため超えてしまう人が出てきます。超えた分は10割自己負担となるため、払えない人や生活保護世帯はサービスを削るしかありません。

超えてしまう方の事例を行政に知ってもらいたいと、現場のケアマネジャーが事例を報告しました。また、新たな要介護認定方式が介護認定を低くする危険性も紹介しました。市側は「財政的に市の独自施策はできないが、他の制度の活用、プランの見直し、可能な人は自己負担で対応してもらおうことになるだろう。国はこのことを分かっているはずで、給付を抑えるということだと思う。国には皆さんの声を伝えていきたい」と答えました。



### 障がい者交通費助成制度の削減はやめてください

障がい者交通費助成削減に反対する連絡会は、3/20に市の障害福祉部と、交通費助成の削減をやめてほしいと「意見交換会」を行いました。200人余りの会場に溢れるほどの参加者は、それぞれの障害を持つ立場から、「この制度のお陰で

通院や通所だけでなく、色々な所へも出かけることができ、社会参加に役立っている」と、制度の削減・改悪はやめてほしいと強く訴えました。

市側は、「現行の予算は何とか確保したい。福祉パス(無料で上限なく使えるカード)は、社会参加に大きく寄与している存在で、何とか存続の方向で考えている」と述べました。

### SOSネットワーク 北海道街頭相談会

3月31日(火)  
 10:00~19:00

札幌地下街オーロラスクウェア(市役所を地下に降りた所です)  
 労働、生活、医療、法律、多重債務の相談など、弁護士、司法書士も参加

4月1日

## 消費税増税反対 後期高齢者医療制度廃止 に取り組みましょう!!

主催団体	時間帯	場所
道各界連・道社保協・中央区各界連	12時~13時	中央区南1西3 マツモトキヨシ前
北区各界連	15:00~15:40	地下鉄北24条駅
西・手稲区各界連(西区)	12時~	琴似ダイエー前
西・手稲区各界連(手稲区)	13時~	JR手稲駅北口
白石・厚別各界連	15時~	地下鉄白石駅
新婦人東支部	11:00~12:15	新道生協、スーパーハッピー、光星フードセンター前
新婦人豊平支部	10:30~	10:30美園生協、11:30豊平ゲオ、12:30平岸東急
新婦人厚別支部	13時~	新札幌水族館・青少年科学館前
新婦人清田支部	12:30~	西友前

4月1日は、消費税導入20年。後期高齢者医療制度開始1年にあたります。